

25番		長江 秀幸 議員	
項目	令和8年度予算大綱説明と市政運営の基本方針について	項目	
(要旨)	<p>1 本市の経済動向と予算編成について</p> <p>(1) 国、県の経済動向をどのように分析し、予算編成に反映したのか伺う。</p> <p>(2) 一般会計は、約486億円の規模で、前年比で11億円、率にして約2.2%の減少となっている。近年、予算に関しては、増額してきているが、減額とした理由、要因について伺う。</p> <p>(3) 歳入に関しては、市税のうち、個人市民税が前年度費5.0%増の79億7480万円、法人市民税は9.2%増の14億8860万円を見込んでいる。個人の賃金や企業の業績が上昇した影響ということでよいのか、要因、分析について伺う。</p> <p>(4) 各事業の財源として、財政調整基金を14億円取り崩すほか、市債を約17億円借り入れるとともに、公共施設整備基金を約5億円取り崩して、公共施設等総合管理計画に基づく施設整備に活用するとしているが、昨年度と比較すると市債の借り入れの減少が目立つが、財源の確保について考慮した点、考え方について伺う。</p> <p>(5) 物価高騰の影響を受ける市民や事業者の生活・事業活動を下支えするため、国の地方創生臨時交付金を活用した支援を実施するが、具体的事業内容とスケジュールについて伺う。</p>	(要旨)	<p>2 第6次瀬戸市総合計画の将来像の実現と次期将来計画の策定について</p> <p>(1) 本市は、将来像の実現と都市像の達成に向けて、「住む・働く・学ぶ・育む・守る」といった暮らしの要素の充実に取り組んできた。令和8年度は、総合計画の期間が終了する年でもあるが、次期将来計画の策定を見据え、この一年どのように取り組んでいくのか伺う。</p> <p>(2) 「次期将来計画は、人口構造の変化による様々な課題の顕在化が懸念される2040年を見据えて、人口が減少する中でも持続可能で充実したまちづくりにつながる計画にしたいと考えている。そのためにも、市民だけでなく、本市と多様な形で関わる市外の方や企業の方々とともに、地域の活性化や課題解決に取り組む『共創』の視点がますます必要になってくるものと考えている。」と述べてみえるが、様々なハードルもあり、容易い取組ではないと考えるが、どのように取り組んでいくのか伺う。</p> <p>(3) 令和6年度から各部でこれまでの事業の評価を行い、その評価を踏まえた事業のあり方や方向性について各部との対話による事業見直しに全庁的に取り組んできたが、若い職員の考えは反映されているのか、また、事業見直しのこれまでの成果と今後の取組について伺う。</p>

25 番		長江 秀幸 議員	
項目		項目	
<p>(要旨)</p> <p>3 都市像①「活力ある地域経済と豊かな暮らしを実感できるまち」について</p> <p>(1)「地域産業の振興と人材の活躍推進」について</p> <p>① 企業の立地に対する助成に取り組むが、市内での事業所の新增設及び再投資が積極的に行われるよう、支援制度の周知及び許認可手続き等の支援が重要と考えるが、どのように取り組んでいくのか伺う。</p> <p>② 愛知県の事業においても、スタートアップ企業等との連携促進に向けたトライアル等の実施の取組が行われる。また、その他様々な支援事業も用意されているが、本市としてどのように取り組んでいくのか伺う。</p> <p>③ 地域農業維持のための指針となる地域計画については、地域との協議を進め策定されているが、課題と今後の取組について伺う。</p> <p>④ 農業塾の開催、地元野菜の給食提供や市民農園の運営等の状況について伺う。</p>		<p>(要旨)</p> <p>(2)「年齢や性別にかかわらず、働くことや起業・創業に挑戦できるまちづくり」について</p> <p>① せとまちツクリテ・人材バンク登録者数と市内で工房を構えて活動するツクリテの状況について伺う。また、これまでのツクリテ支援の取組における成果と課題について伺う。</p> <p>(3)「地域経済の活性化につながる地域資源を活かしたシティプロモーションの展開」について</p> <p>① インバウンドの取組として、愛知県や鉄道会社等との連携により、海外向け商談会への参加や広域でのプロモーション動画作成などに取り組んできているが、その成果はどのようなか伺う。</p> <p>② 「せと・まるっとミュージアム観光推進アクションプラン」に変わり「瀬戸市観光推進指針」を策定し、観光誘客と地域経済の活性化につながる取組を展開する。本市の特色を活かした取組を具体化していくことが重要と考えるが、どのように取り組んでいくのか伺う。</p> <p>③ ふるさと納税の推進については、庁内関係部と連携を図り、市内事業者へのアプローチを強化したことにより、返礼品登録数も増加しており、一定の成果は得られていると思われる。しかし、まだまだ伸びしろがあると考え。今後、ふるさと納税支援委託業者とともに、さらなる返礼品の拡充や魅力的な返礼品ページの</p>	

25 番		長江 秀幸 議員	
項目		項目	
(要旨)	<p>作成等により、歳入確保やシティプロモーションの推進、産業振興につなげていくことが重要と考えるが、どのように取り組んでいくのか伺う。</p> <p>④ 本市の認知度の拡大については、シティプロモーション動画の活用、インスタグラムやYouTubeなどの様々な媒体において多くの方にご覧いただき、「瀬戸のよいところがすてきに映し出されていてとてもいい」などの感想も寄せられている。さらに市内外に向けてシティプロモーションを展開し、関係人口の拡大、移住定住の取組を推進していかねばならないが、どのように取り組んでいくのか伺う。</p> <p>⑤ 昨年開催された国際芸術祭「あいち2025」は、「灰と薔薇のあいまに」をテーマに、国内外のアーティストが本市の歴史ある街並みや陶磁美術館で作品を展示し多くの来訪者が訪れた。旧深川小学校などを舞台にした現代アートや、愛知県陶磁美術館展示が話題となった。地域活性化にも大きく寄与したのではないかと考える。今後、一過性にならないような取組が必要と考えるが見解を伺う。</p> <p>⑥ 「愛知・名古屋2026アジア・アジアパラ競技大会」については、本市としても積極的に関わり、スポーツはもちろん、文化、産業を含めPRしていくべきと考えるが、どのように取り組んでいくのか伺う。</p>	(要旨)	<p>⑦ 中日ドラゴンズの2軍本拠地の誘致に取り組むが、実現すれば、地域活性化に多大な影響を与えるものと考えている。現時点でどのような効果をイメージしているのか伺う。また、どのような手法で今後取り組んでいくのか伺う。</p> <p>⑧ 本市は、令和11年度に市制施行100周年を迎える。100周年を契機として、瀬戸市を舞台に「実現したい」「挑戦したい」夢を市内外から募るとともに、その夢の実現に取り組み、次の100年に想いをつないでいくなどとしているが、市長が言われる通り、「多くの皆さま」の参画が重要である。今後どのように機運の醸成を図っていくのか伺う。</p> <p>(4) 「市民の生活の利便性を高め、企業活動の活性化につながる都市基盤の整備」について</p> <p>① 陣屋線において電線共同溝整備工事に取り組むが、都市景観の向上など様々なメリットが考えられるが、陣屋線に関してのメリットと今後、都市計画道路等の電線共同溝の整備の可能性について伺う。</p> <p>② 窓口DX SaaSを活用した「書かない窓口」の導入を進めるが、各種証明書の申請やライフイベントにかかる手続きについて、職員が必要なことを聞き取ることで申請書の作成を支援する取組だが、導入時期と市民のメリットについて具体的に伺う。</p>

25 番		長江 秀幸 議員	
項目		項目	
<p>(要旨)</p> <p>③ バーチャル瀬戸については、商業観光振興を推進するため、企業紹介ブースに出展していただける事業者の公募に向けた準備を進めていたが、現状と今後の取組について伺う。</p> <p>④ ICT 戦略推進プランに基づき、これまでも生活の利便性向上に取り組んできているが、その成果と今後の展開について具体的に伺う。</p> <p>4 都市像②「安心して子育てができ、子どもが健やかに育つまち」について</p> <p>(1) ライフステージ応じた切れ目のない子ども・子育ての支援」について</p> <p>① 児童福祉機能と母子健康機能を一体化した「こども若者家庭センター」において、妊産婦や0歳から39歳までの子ども・若者及びその家族への切れ目のない支援を行っていくとのことである。相談体制の強化が重要となるが、現状と今後の取組及び課題について伺う。</p> <p>② 本年4月から、すべての子どもの育ちを応援し、子どもの良質な成育環境を整えることを目的とし、生後6カ月から3歳未満の未就園児が通園できる、「こども誰でも通園制度」を実施する。この制度により、子どもたちは同年齢の子どもたちや専門的な知識を持つ保育者と関わることができ社会情緒的な発達を促進するなどとされているが、本市の制度を具体的に伺う。</p>		<p>(要旨)</p> <p>③ 市長の政権公約でもある学校給食の無償化については、小学生と中学校3年生の給食費を無償化し、中学1、2年生も物価高騰分を軽減するとしているが、市長は、政権公約を達成する、集大成となる予算を組んだなどとコメントしていますが、給食費の無償化について、改めて市長の思いを伺う。</p> <p>(2) 「瀬戸で学び、瀬戸で育ててよかったと思える教育の実現」について</p> <p>① 光陵学園において独自教科「みらい科」を新設するなど9年間を見通した小中一貫教育の深化など教育環境を整備し、子どもたち一人ひとりの多様な幸せ（ウェルビーイング）の向上と、子どもたちの多様な教育ニーズに対応したきめ細やかな教育の推進により、「まちと未来を拓く人づくり」を目指すとのことだが、どのような教育なのか具体的に伺う。</p> <p>② 「せと“ここ”ほっとルーム」については困難を抱え支援が必要な子どもの居場所として役割を果たしてきている。今後も子どもや家庭の困難の予防、早期発見のため、学校や家庭、関係機関との連携を図るとともに、スクールソーシャルワーカー等の体制の強化が必要と考えるが、どのように取り組んでいくのか伺う。</p>	

25番		長江 秀幸 議員	
項目		項目	
(要旨)	<p>③ 給食センター及び単独調理校調理場の老朽化をはじめとした課題を解消し、安心・安全でおいしい給食を安定的に供給できるよう、新たな給食センターのあり方を検討する基本計画の策定に取り組むが、単独校調理室の集約、新給食センターを整備していくことになるが、青写真のようなものはあるのか伺う。</p> <p>(3)「多世代が子育てに関わることのできるまちづくり」について</p> <p>① コミュニティ・スクールについては、現在、全ての学校において活動が行われることとなった。地域学校協働活動を通じた地域の方々と児童・生徒の身近な関わりにより、子どもの自己肯定感や学習意欲の良好な変化が見られるとともに、地域全体で子どもを支え育むという考えから、地域住民の学校への理解や活動への参加促進、教職員のやりがいの向上といった成果が現われているとのことだが、さらに活動、児童・生徒の反応等良い状況がみられてきているのか伺う。</p> <p>(4)「都市基盤整備による居住環境の魅力向上と未来に向けた良好な環境の継承」について</p> <p>① 通学路等の歩道整備については令和7年度、萩殿春雨線、幡中南菱野線において整備を行ったが、令和8年度の整備について具体的に伺う。</p>	(要旨)	<p>② 中水野駅周辺地区区画整理については、居住や子育て支援、商業施設などの新たな都市機能の誘導を図り、水野地域の拠点としての整備を進めるとのことだが、様々な調査設計業務、換地設計、仮換地指定後の整備の取組について具体的に伺う。</p> <p>5 都市像③「地域に住まう市民が自立し支え合い、笑顔あふれるまち」について</p> <p>(1)「誰もがいきいきと、健康に暮らすことができるまちづくり」について</p> <p>① 本市は、愛知県との協働で、誰もが楽しみながら、気軽に健康づくりにチャレンジすることができる、健康マイレージ事業に取り組んできているが、事業の現状、成果及び課題について伺う。</p> <p>(2)「高齢者が生きがいを持って活躍し、支え合いにより、安心して暮らせるまちづくり」について</p> <p>① 高齢者移動支援事業については、これまでも地域のニーズにより様々な事業を行ってきているが、より効果のある事業に取り組んでいくことが重要と考えるが、今後どのように取り組んでいくのか伺う。</p>

25 番	長江 秀幸 議員	項目	項目
<p>(要旨)</p> <p>② 認知症の方やその家族の支援については、認知症初期集中支援チーム員会議において、大学病院の医師を招き、精神科医の専門的な知見を取り入れており、地域包括支援センター職員の、対応スキルが向上しているなど医療、介護の連携体制の強化に取り組んできている。認知症地域支援推進員とともに、新たにチームオレンジコーディネーターを配置し、認知症の方とオレンジサポーターや企業等とのマッチングを行うとしているが、本市におけるチームオレンジコーディネーターの役割と業務内容について伺う。</p> <p>(3) 「誰もが自立し、地域で支え合いながら生きがいをもって安心して暮らせるまちづくり」について</p> <p>① 障がい者相談支援センターの相談件数については、年々増加傾向にあり、相談体制の強化に取り組むべきと考えるが、その対応状況と課題について伺う。</p> <p>② 障がい者の経済的負担の軽減策については、令和8年度中の実施に向け事業の検討を進めているが、交通費の助成拡充、就労先への交通費助成の拡充、日常生活用具における新たな品目の追加、日常生活用具給付事業の一部品目の給付上限額の見直し等が検討されているが、継続的な支援については可能なのか、また、さらなる真に効果のある障害者施策の拡充、進化も必要と考えるが、見解を伺う。</p>		<p>(要旨)</p> <p>(4) 「地域の生活環境の向上と安全・安心な地域づくり」について</p> <p>① 令和9年度からのプラスチック製容器包装の収集頻度見直しに向けた準備をはじめ、さらなるごみの減量及び資源化の促進に努めていくが、収集運搬体制等を具体的に伺う。</p> <p>② 今後、発生が想定される南海トラフ地震や台風などによる風水害などの災害に対する備えを着実に進め、地域防災力の向上を図っていくとのことである。迅速・確実に緊急情報を伝達していかなければならないが、具体的取組と周知方法について伺う。</p> <p>③ 新たに高齢者や障害者の方がお住いの世帯に対し、住宅用火災警報器の購入にかかる助成を行うとともに、ご自身での設置が困難な方への設置について支援するとのことだが、助成制度の対象と周知方法を伺う。また、設置が困難な世帯への支援についてはどのように取り組んでいくのか伺う。</p> <p>(5) 「誰もが生涯にわたって学び、郷土に対する誇りと愛着を深める豊かな地域づくり」について</p> <p>① 図書館本館のリニューアルオープンと合わせて、図書館サービスの向上に向けて、セルフ窓口の拡充や座席(学習スペース)予約システムの導入をするが、予約システムの導入については、中高生が効果的に学習できると思われる。大人も子どもも楽しめる図書館を目指す、市民ニーズに適合した図書館となるのか伺う。</p>	

25 番	長江 秀幸 議員	
項目		項目
<p>(要旨)</p> <p>② 旧東明小学校において、文化財等の収蔵施設を集約するための施設整備に着手することだが、適切な保存、効果的な管理とは具体的にどのような保存、管理なのか伺う。また、市民にとってどのようなメリットがあるのか伺う。</p> <p>6 水道事業・下水道事業について</p> <p>(1) 水道事業については、災害に強く、安全で安心な水の安定した供給と有収率の向上を図るため、老朽管の布設替や整備及び管路の地震対策と更新を進めていくが、計画的かつ着実に進めていくことが重要であるが、これまでの進捗状況と今後の取り組みについて伺う。</p> <p>(2) 今後、蛇ヶ洞浄水場、馬ヶ城浄水場の更新等の課題があると認識しているが、どのように検討していくのか伺う。</p> <p>(3) 下水道事業についても着実な地震対策、施設更新が重要である。また、下水道管渠整備事業についても着実に取り組んでいかなければならない。公共下水道事業計画に基づき事業を行っているが、計画通り進捗しているのか伺う。</p>	<p>(要旨)</p>	